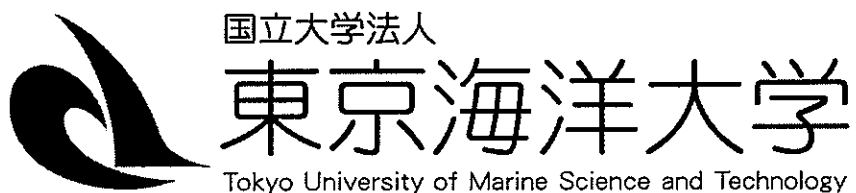


平成24年度

東京海洋大学海洋科学部

編入学学生募集要項



平成23年(2011年)5月

# 目 次

大学の理念、大学の人材養成と目標	
アドミッションポリシー（入学者受入方針）および教育研究上の目標 .....	1
平成24年度東京海洋大学海洋科学部編入学学生募集要項 .....	2
I 募集学科 .....	2
II 編入学の時期及び編入学年次 .....	2
III 選抜方法及び募集人員 .....	2
IV 入学手続 .....	6
V 個人情報の取扱い .....	6
VI 個人成績の開示 .....	7
VII 東京海洋大学品川キャンパスへの最寄りの交通機関 .....	7
VIII 入学者選抜状況 .....	7
東京海洋大学海洋科学部編入学案内 .....	8
I 概要 .....	8
II 食品生産科学科の紹介 .....	8
III 編入学後の履修等 .....	9
IV 技術士補の資格について .....	13
V 学生生活について .....	16
東京海洋大学学生寮のお知らせ .....	17

(注) この要項には、出願に必要な次の書類が同封されています。

不足している書類がある場合は、裏表紙の問い合わせ先へ電話で請求してください。

- |  |
|--|
| ①志願票 ②受験票・写真票 ③推薦書 ④受験票送付用封筒 ⑤あて名票（推薦試験用）<br>⑥あて名票（学力試験用） ⑦出願書類送付用封筒<br>⑧ 志願票の書き方，検定料納付証明書の説明，検定料の納付方法（編入学試験用） |
|--|

## 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシー（入学者受入方針）および教育研究上の目的

東京海洋大学は、大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシー（入学者受入方針）および教育研究上の目的を次のように掲げています。

### 大学の理念

人類社会の持続的発展に資するため、海洋を巡る学問及び科学技術に係わる基礎的・応用的教育研究を行う。

### 大学の人材養成と目標

我が国が海洋立国として発展し、国際貢献の一翼を担っていくためには、国内唯一の海洋系大学である東京海洋大学が、「海を知り、守り、利用する」ための教育研究の中心拠点となって、その使命を果たす必要がある。このような基本的観点に立ち、本学は、研究者を含む高度専門職業人養成を核として、海洋に関する総合的教育研究を行い、次の能力・素養を有する人材を養成する。

- 一 海洋に対する科学的認識を深化させ、自然環境の望ましい活用方策を提示し、実践する能力
- 二 論理的思考能力、適切な判断力、社会に対する責任感をもって行動する能力
- 三 現代社会の大局化した諸課題について理解・認識し、対応できる実践的指導力
- 四 豊かな人間性、幅広い教養、深い専門的知識・技術による課題探求、問題解決能力
- 五 国際交流の基盤となる幅広い視野・能力と文化的素養

### アドミッションポリシー（入学者受入方針）

海洋とその利用および地球環境問題に興味と関心を持ち、自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力を持つ学生を求める。

### 教育研究上の目的

海洋科学部においては、海洋、湖沼、河川に生息する多種多様な生物と人間との共存、地球環境、食糧等の問題に関心を持ち、これらに係る諸課題を追求し、解決するための行動力を持つ人材としての専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に関わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類・社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

#### 食品生産科学科

海洋食資源(食品)の安全な利用・開発と新しい機能を持つ食品の開発を基礎的・応用的・総合的に教育研究する。

# 平成24年度 東京海洋大学海洋科学部編入学学生募集要項

I 募集学科 食品生産科学科

II 編入学の時期及び編入学年次

編入学の時期は、平成24年4月1日とし、編入学年次は第3年次とします。

III 選抜方法及び募集人員

- 編入学者の募集は、「推薦試験」と「学力試験」の2つの試験区分で行います。
- 募集人員は、いずれも「若干名」とします。

## [1] 推薦試験

### 1 出願資格及び推薦の要件

#### (1) 出願資格

平成24年3月に高等専門学校を卒業見込みの者

#### (2) 推薦基準

人物・学業成績がともに優れ、学校長が責任をもって推薦する者で、合格した場合は、入学することを確約できる者

#### (3) 推薦人員

各高等専門学校からの推薦人員は、2名以内とします。

### 2 出願手続

#### (1) 出願方法

出願書類等は、本学所定の封筒を用い、必ず **速達書留** で郵送してください。郵送のみの受付で、大学に直接持参しても受け付けません。

#### (2) 提出先

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学 入試課

#### (3) 出願期間

平成23年6月1日(水)～6月7日(火) [6月7日(火) 必着]

#### (4) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
① 入学志願票	本学所定の用紙に必要事項を漏れなく記入してください。
② 受験票	写真は出願前3か月以内に撮影した縦4cm、横3cm(上半身、無帽、正面向)のものを貼ってください。
③ 写真票	
④ 卒業見込証明書	学校長が作成したもの。
⑤ 推薦書	本学所定の用紙により、学校長が作成したもの。
⑥ 調査書	文部科学省所定の様式により学校長が作成したもの。
⑦ 検定料	本学所定の「振込依頼書」により、検定料30,000円を最寄りの金融機関窓口(郵便局は除く。)で払込んでください。なお、払込手数料は、受験者の負担となります。 払込後、C票「納付証明書」を入学志願票の納付証明書貼付欄に貼ってください。
⑧ あて名票	志願者あて4枚、高等専門学校長あて1枚です。それぞれのあて先の郵便番号、住所、氏名(志願者あてのみです。)を明記してください。(推薦用)

⑨ 登録原票記載事項証明書	日本に居住する外国人の志願者は、市区町村の発行する登録原票記載事項証明書を提出してください。
⑩ 受験票送付用封筒	志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、360円分の郵便切手を貼ってください。

- (注1) 提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。また、受理後の出願書類等の変更は認めません。
- (注2) いったん受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しません。
- (注3) 入学志願票及び出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合又は提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (注4) 払込済みの検定料は、次の場合を除きいかなる理由があっても返還しません。該当者については、後日、本学が別に定める返還額を銀行振込みにより返還します。
- ① 検定料を払込んだが、出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
  - ② 誤って検定料を二重に払込んだ場合
- なお、上記①又は②に該当する場合は、速やかに入試課 (TEL 03-5463-0510) まで連絡してください。

(5) 障害のある入学志願者との事前相談について

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める程度）のある入学志願者で受験上及び修学上特別な配慮を必要とする可能性のある者は、本学として特別な配慮が実施可能かどうか判断しますので、出願に先立ち事前に相談を行ってください。

- ① 相談の時期  
平成23年5月20日（金）まで
- ② 相談の方法  
相談内容を記載した説明書（健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等との面談等を行います。
- ③ 連絡先  
〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学 入試課 TEL (03-5463-0510)

3 選抜方法

学校長からの推薦書、調査書の内容と、「小論文」、「面接」の結果を総合して判定します。

4 選抜日程等

期 日	時 間	教科等	実 施 場 所
6月16日（木）	10:00~12:00	「小論文」	品川キャンパス
	13:00~	「面接」	東京都港区港南4-5-7

5 受験に当たっての注意事項（受験上の注意）

- (1) 受験票は試験当日に必ず持参してください。
- (2) 受験者は、9時30分までに指定された場所に集合してください。
  - ①試験場（教室）は、受験票送付時に通知します。
  - ②入構は9時からです。必ず、正門から入構してください。
- (3) 試験室への入室に上履きは必要ありません。
- (4) 遅刻した者は、試験開始後30分以内に限り、受験を許可します。
- (5) 本学では、宿泊施設の紹介はしませんので、受験者各自で確保してください。

## 6 合格者の発表

- (1) 発表日時  
平成23年7月1日(金) 10時
- (2) 発表方法  
合格者の受験番号を品川キャンパス掲示板に発表し、合否の結果については、出願者及び出身学校長あてに文書で通知します。  
なお、本学ホームページ上にも合格者の受験番号を掲載します。(10時30分頃)  
ただし、ホームページ上での発表は参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。  
東京海洋大学URL: <http://www.kaiyodai.ac.jp/>  
電話等による合格、不合格の照会には応じません。

## [2] 学力試験

- 1 出願資格(出願できる者は次の各号のいずれかに該当する者とします。)  
  - (1) 高等専門学校を卒業した者及び平成24年3月までに卒業見込みの者
  - (2) 短期大学を卒業した者及び平成24年3月までに卒業見込みの者
  - (3) 大学を卒業した者及び平成24年3月までに卒業見込みの者
  - (4) 現に大学に2年以上(休学期間を除く。)在学し、62単位以上取得した者及び平成24年3月までに取得見込みの者(平成24年3月までに2年間在学となる者を含む。)
  - (5) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成24年3月までに授与される見込みの者
  - (6) 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定により文部科学大臣の指定した者  
(注) 高等専門学校から推薦試験に出願した者も学力試験に出願可能(調査書の再提出は不要)です。
- 2 出願手続  
  - (1) 出願方法  
出願書類等は、本学所定の封筒を用い、必ず **速達書留** で郵送してください。郵送のみの受付で、大学に直接持参しても受け付けません。
  - (2) 提出先  
〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学 入試課
  - (3) 出願期間  
平成23年8月29日(月)～ 9月2日(金) [9月2日(金) 必着]
  - (4) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
① 入学志願票	本学所定の用紙に必要事項を漏れなく記入してください。
② 受験票 ③ 写真票	写真は出願前3か月以内に撮影した縦4cm、横3cm(上半身、無帽、正面向)のものを貼ってください。
④ 卒業(見込)証明書	最終学歴の高等専門学校、短期大学、大学等の卒業(見込)証明書。4年制大学の2年次及び3年次に在学中の者は在学証明書。大学評価・学位授与機構より学士の学位を授与(見込)された者は、学士の学位授与(見込)証明書。
⑤ 調査書又は成績証明書等	既卒の者は、最終学歴の高等専門学校、短期大学、大学等の厳封された調査書又は成績証明書。平成24年3月までに卒業見込みの者及び在学中の者は、すでに修得した単位を証明し、厳封されたもの及び履修中の授業科目と単位を証明し、厳封されたもの。

⑥ 検定料	本学所定の「振込依頼書」により、検定料30,000円を最寄りの金融機関窓口（郵便局は除く。）で払込んでください。なお、払込手数料は、受験者の負担となります。 払込後、C票「納付証明書」を入学志願票の納付証明書貼付欄に貼ってください。
⑦ あて名票	本学所定の用紙に合格通知書の受信場所の郵便番号、住所、氏名を明記してください。（学力試験用）
⑧ 登録原票記載事項証明書	日本に居住する外国人の志願者は、市区町村の発行する登録原票記載事項証明書を提出してください。
⑨ 受験票送付用封筒	志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、360円分の郵便切手を貼ってください。

- (注1) 提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。また、受理後の出願書類等の変更は認めません。
- (注2) いったん受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しません。
- (注3) 入学志願票及び出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合又は提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (注4) 払込済みの検定料は、次の場合を除きいかなる理由があっても返還しません。該当者については、後日、本学が別に定める返還額を銀行振込みにより返還します。
- ① 検定料を払込んだが、出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
  - ② 誤って検定料を二重に払込んだ場合
- なお、上記①又は②に該当する場合は、速やかに入試課(TEL 03-5463-0510)まで連絡してください。

(5) 障害のある入学志願者との事前相談について

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める程度）のある入学志願者で受験上及び修学上特別な配慮を必要とする可能性のある者は、本学として特別な配慮が実施可能かどうか判断しますので、出願に先立ち事前に相談を行ってください。

- ① 相談の時期  
平成23年8月19日（金）まで
- ② 相談の方法  
相談内容を記載した説明書（健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等との面談等を行います。
- ③ 連絡先  
〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学 入試課 TEL(03-5463-0510)

3 選抜方法

学力試験「英語、数学、理科（物理、化学のうちから1科目選択）」の結果と調査書又は成績証明書の内容を総合して判定します。

4 選抜日程等

期 日	時 間	教 科 等	実 施 場 所
9月26日（月）	10:00～11:30	「英語」（英文解釈、英作文）	品川キャンパス 東京都港区港南 4-5-7
	13:00～14:30	「数学」（微積分）	
	15:00～16:30	「理科」物理（力学）、化学（有機化学）のいずれか1科目選択	

5 受験に当たっての注意事項（受験上の注意）

受験に当たっての注意事項は、3ページ「5 受験に当たっての注意事項（受験上の注意）」のとおりです。

## 6 合格者の発表

### (1) 発表日時

平成23年10月7日(金) 10時

### (2) 発表方法

合格者の受験番号を品川キャンパス掲示板に発表し、合否の結果については、出願者あてに文書で通知します。

なお、本学ホームページ上にも合格者の受験番号を掲載します。(10時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。

東京海洋大学URL: <http://www.kaiyodai.ac.jp/>  
電話等による合格、不合格の照会には応じません。

## IV 入学手続

入学手続は次のとおりです。

入学手続を行わなかった者は入学を辞退したものと取り扱います。

### 1 入学手続日

「推薦試験」「学力試験」とも、平成24年1月27日(金)

入学手続関係書類は、平成23年12月下旬に志願票の「合格通知送付先」に郵送します。

(受信先が変更になった場合は、速やかに本学に連絡してください。)

### 2 提出書類

#### (1) 本学受験票

#### (2) その他、本学の指定する書類(合格者に送付します。)

#### (3) 入学に要する経費(予定)

入学金 282,000円

(注1) 入学金を金融機関窓口で振り込む際には運転免許証・健康保険証・パスポートなどの本人確認書類が必要となりますので、御用意ください。

(注2) 授業料については入学後に徴収します。

授業料 (前期分) 267,900円	} (年額) 535,800円
(予定) (後期分) 267,900円	

(注3) 入学時及び在学中に入学金・授業料の改定を行った場合は、改定時から新入学金・新授業料が適用されます。

## V 個人情報の取扱い

### 1 入学試験に係る個人情報の利用

(1) 入学志願票に記載された個人情報は、引き続き入学後の学籍データとして利用します。

(2) 入学志願票に記載された内容、入学者選抜に用いた試験成績及び提出書類の内容等の個人情報は、大学入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究、学術研究の資料及び統計的資料の作成にも利用します。調査・研究結果及び統計的資料の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

### 2 入学後の個人情報の利用

(1) 入学後、各授業のクラス編成に当たっては、入学者選抜に用いた試験成績を利用することがあります。

(2) 入学金免除、授業料免除及び日本学生支援機構を始めとする奨学金の選考に当たっては、主に経済的困窮度及び高等学校の学習成績等により行いますが、場合によっては入学者選抜に用いた試験成績を利用することがあります。

## VI 個人成績の開示

受験者に対し、成績の総得点及び順位で開示します。ただし、受験者が10名以下の試験については不開示とします。

### 申請手続

#### 1 申請方法

個人成績の開示を申請する場合には、下記期間内に本学所定の申請書に必要事項を記入の上、本学受験票（コピー可；受験票を紛失した場合は、本人を確認できる学生証等）と返信用封筒（本人の住所・氏名を明記の上、郵便書留とし、500円分の切手を貼った長形3号（約23.5cm×12cm）封筒）を同封し、郵送してください。

[注] 個人成績の開示に関して電話、電子メール及び窓口での対応はいたしません。

#### 2 受付期間

平成23年11月7日（月）から平成23年11月18日（金）まで（必着）

#### 3 申請先

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学 入試課 TEL (03-5463-0510)

## VII 東京海洋大学品川キャンパスへの最寄りの交通機関

- ・JR線、東海道新幹線及び京浜急行線「品川駅」下車（徒歩10分）
- ・東京モノレール、りんかい線「天王洲アイル駅」下車（徒歩20分）

## VIII 入学者選抜状況

年度	入試区分	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成23年度	推薦	4	4	3	3
	学力	21	17	5	5

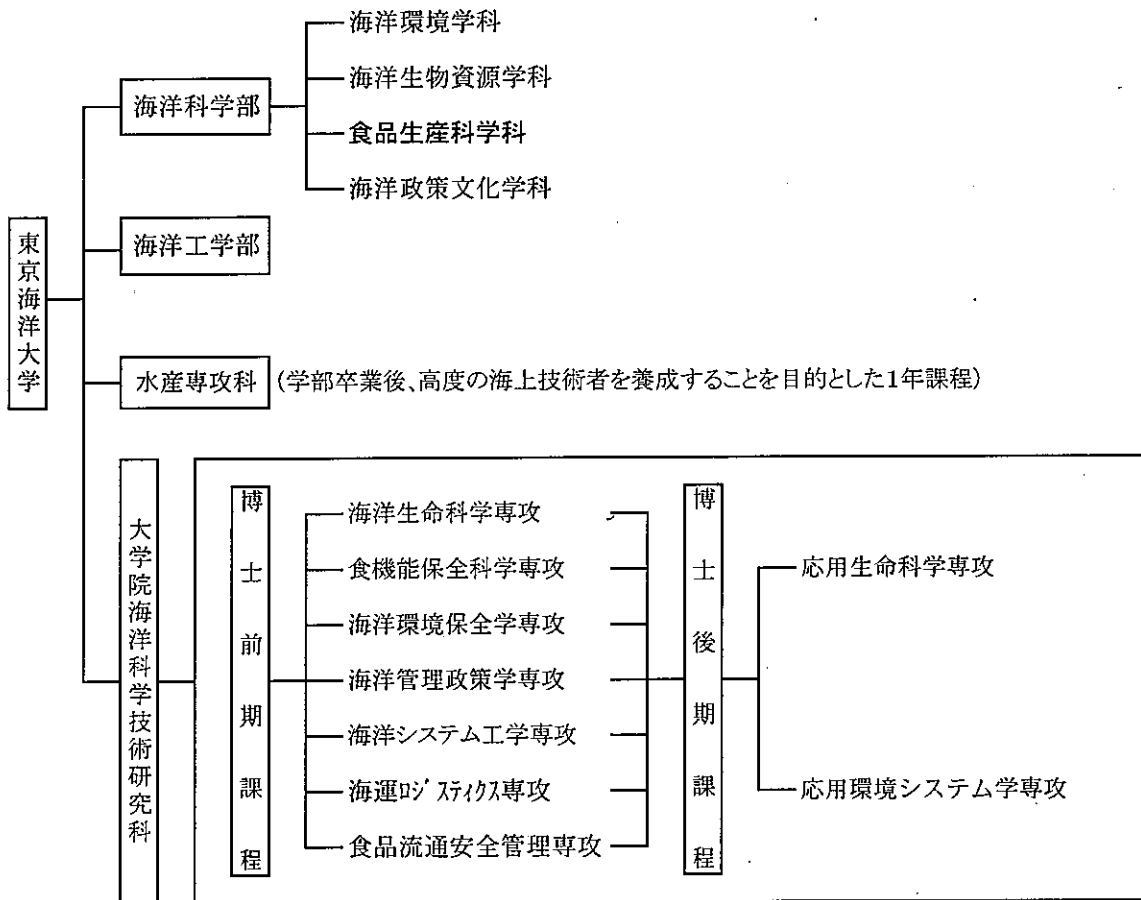
## ◎ 東京海洋大学海洋科学部編入学案内

### I 概要

東京海洋大学は、東京水産大学と東京商船大学が平成15年10月に統合して、発足した大学です。さらに、平成16年4月からは国立大学法人となり、国立大学法人東京海洋大学としてスタートしました。

東京海洋大学の教育・研究の組織は次のとおりで、海洋科学部を卒業した後は専攻科や大学院へ進学する道も開かれています。

「教育・研究の組織」



### II 食品生産科学科の紹介

海洋生物を中心とした食資源を化学、微生物学、物理学、工学的な手法を用いて余すことなく利用する技術開発を行うとともに、安全性の確保・向上と新しい機能を持つ食品の開発と評価を教育・研究します。

卒業生は、食品産業全般（製造、加工、機械、流通、販売）及びそれらに関連した商社、研究機関、教育機関に進出し活躍しています。

本学科は、2講座で編成されており、各講座の教育・研究概要は次のとおりです。

#### ○ 食品保全機能学講座

水産食品を中心とする各種食品について、安全性・健全性の確保・向上及び機能性開発を目指して化学的・微生物学的視点からアプローチします。具体的には、食品の一次機能（栄養）および二次機能（味、色、香り、物性）にかかわる因子の特性、食品の持つ三次機能（生体調節）因子の探索と特定、食品の製造・貯蔵・流通・消費などにおける化学的・微生物学的安全性と品質保持などに関する諸問題とこれらを支える先端技術などについて総合的に教育研究を行います。

○ 食品品質設計学講座

安全かつ付加価値の高い食品（主として水産食品）の製造プロセスを具体化するための食品設計技術の開発や製造プロセスにおける安全性評価システムの確立を目指して、主として工学的視点からアプローチします。具体的には、原料や原料中の諸成分の加工特性の理解を通じて、原料から消費に至るまでの安全性にかかわるプロセスの高精度な定量的解析、先端食品製造装置・システムの開発設計と操作特性、水産食品の低温利用に関する原理と先端技術などについて総合的に教育研究を行います。

また、以上に加え、大学院には次の講座が設置され、学部組織とも連携し、特徴ある教育・研究を行っています。

ヘルスフード科学（中島董一郎記念）寄附講座

現代社会における「食と健康」や「予防医学」に対する必要性について考え、臨床実験、学術調査、市場調査、特許戦略、市場開拓及び起業の方法などを学ぶ。さらに、生体調節機能を有するヘルスフードに関する教育・研究を行います。

Ⅲ 編入学後の履修等

○ 編入学後の修業年限、卒業資格及び学位

卒業には学部にて2年以上在学し、卒業に必要な124単位を修得しなければなりません。なお、卒業生には学士の学位が与えられます。

○ 編入学後の履修

学部3年次に編入しますが、編入学後は食品生産科学科で定めるカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう単位を修得しなければなりません。

なお、編入学の際に認定される単位は下表のとおりです。「認定される単位数」の総合科目31単位、また基礎教育科目25単位及び他学部・他学科等開講科目6単位は修得したものとみなします。

「認定される単位数」の専門科目「基礎科目」18単位は単位認定の最高基準を定めたもので、各人に対する認定は出身学校における履修状況等を考慮して行います。

履修単位の認定基準

授 業 科 目 区 分		認定される 単 位 数	認定できる 単 位 数	卒業に必要な 単 位 数
総合科目	全学共通科目	5		5
	文化学系	4		4
	哲学・科学論系	4		4
	社会科学系	4		4
	健康・スポーツ系	2		2
	外国語系	8		8
	自由選択	4		4
基礎教育科目	全学共通科目	4		4
	学部共通 科目	必修	13	13
		選択	8	8
専門科目	基礎科目		18	22
	必修科目			14
	選択科目			26
	他学部・他学科 等開講科目	6		6
合 計		62	18	124

※ なお、食品生産科学科に係る専門科目は、10・11ページを参照してください。

専門科目〔食品生産科学科〕

授 業 科 目	年 次 及 び 単 位 数					卒業に 必要な 単位数	備 考
	1年次	2年次	3年次	4年次	計		
<b>基礎科目</b>							<b>第3年次進級要件</b> 第2年次終了時まで、下記の単位を含め、卒業に必要な単位を70単位以上修得しなければ、3年次へ進むことができない。  1. 総合科目11単位以上（「フレッシュマンセミナー」を含む） 2. 基礎教育科目の卒業に必要な単位（25単位） 3. 専門科目の基礎科目20単位以上  ○印の数字は、必修科目の単位数を表す。
海洋生物学入門	2				2		
水産植物学入門	2				2		
水産動物学入門	2				2		
有機化学Ⅰ★	2				2		
生産物理学	②				②		
食品生産科学入門実験★	①				①		
化学演習	①				①		
基礎分子生物学		2			2		
生物化学Ⅰ★		2			2		
生物化学Ⅱ★		2			2		
物理化学		2			2		
有機化学Ⅱ★		2			2		
微生物学★		②			②		
化学実験		②			②		
微生物学実験★		①			①		
物理学実験		①			①		
<b>必修科目</b>							
食品化学★		②			②		
食品工学★		②			②		
食品生産学実習★			①		①		
セミナー				①	①		
卒業論文				⑧	⑧		
<b>選択科目</b>							<b>第4年次進級要件</b> 第3年次終了時まで、卒業に必要な単位を104単位以上修得しなければ第4年次へ進むことができない。  なお、授業科目の区分ごとに定められた卒業に必要な単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位には算入しない。
食品生産システム調査		1			1		
食品微生物学★		2			2		
衛生微生物学★			2		2		
海洋バイオテクノロジー			2		2		
科学英語			2		2		
機器分析概論			2		2		
技術開発と工業所有権			2		2		
公衆衛生学★			2		2		
資源利用化学★			2		2		
食品衛生学★			2		2		
食品加工学★			2		2		
食品機械装置工学			2		2		

授 業 科 目	年 次 及 び 単 位 数					卒業に 必要な 単位数	備 考
	1年次	2年次	3年次	4年次	計		
食品殺菌工学★			2		2		卒業論文・セミナー 履修要件 第4年次進級要件を満たさない学 生は卒業論文及びセミナーの履 修はできない。  食品衛生管理者及び食品衛生監 視員の資格を取得する学生は★印 の科目の単位を修得しなければ ならない。  ●印の科目は、卒業に必要な単位 に含まない。 ▲印の科目は卒業に必要な単位に 含まない。(水産教員養成課程を 除く)
食品のロミション通論			2		2		
食品貯蔵学★			2		2		
食品分析学★			2		2		
食品包装論★			2		2		
食品保全化学★			2		2		
食品冷凍学★			2		2		
食品レオロジー			2		2		
食文化史			2		2		
食品化学基礎実験★			1		1		
食品化学実験★			2		2		
食品工学実験			2		2		
食品微生物学実験			1		1		
食品工学演習Ⅰ			1		1		
食品工学演習Ⅱ			1		1		
食と健康の科学Ⅰ			2		2		
食と健康の科学Ⅱ			2		2		
食品科学実務実習			1		1		
●ヘルスフード科学海外研修			1		1		
▲職業指導			1		1		

○ 食品衛生コース

食品生産科学科に食品衛生コースを設けます。食品生産科学科の学生は、卒業に必要な単位を修得し、かつ、コース修了に必要な下記の単位をすべて修得すれば、食品衛生法に基づく食品衛生監視員(注1)及び食品衛生管理者(注2)となる資格を得ることができます。

なお、当該科目の単位を修得した者には、願い出により食品衛生コースの修了証明書を交付します。

(注1)食品衛生監視員は、国、都道府県及び保健所を設置する市・特別区に置かれる公務員で、主要な港や国際空港での輸入食品の安全性チェック、食品製造加工業、飲食店などの衛生監視・指導を行う。

(注2)食品衛生管理者は、法律で定められた食品(乳製品、食肉製品など)又は添加物の製造加工業に勤務する者から選ばれ、製造加工施設において法律違反がないように製造加工従事者の監督に当たる。

「食品衛生コース」指定科目一覧

授業科目の区分	授 業 科 目	単 位	単 位 及 び 開 講 年 次				備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次	
化学関係の科目	有機化学Ⅰ	2	2				
	有機化学Ⅱ	2		2			

授業科目の区分	授 業 科 目	単 位	単 位 及 び 開 講 年 次				備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次	
生物化学関係の科目	生物化学Ⅰ	2		2			左の科目44単位はすべて修得すること。なお、本表の科目の単位は卒業に必要な単位に含まれる。
	生物化学Ⅱ	2		2			
	食品化学	2		2			
	食品分析学	2			2		
	食品化学基礎実験	1			1		
	食品化学実験	2			2		
微生物学関係の科目	微生物学	2		2			
	微生物学実験	1		1			
	食品微生物学	2		2			
	食品貯蔵学	2			2		
公衆衛生学関係の科目	公衆衛生学	2			2		
	食品衛生学	2			2		
その他関連科目	食品生産科学入門実験	1	1				
	食品工学	2		2			
	食品生産学実習	1			1		
	衛生微生物学	2			2		
	資源利用化学	2			2		
	食品加工学	2			2		
	食品殺菌工学	2			2		
	食品包装論	2			2		
	食品保全化学	2			2		
	食品冷凍学	2			2		
合計 44 単位	計	44	3	15	26		

○「食品衛生コース」の履修上の注意点について

- [1] 編入前の出身校が当該資格養成施設の場合  
『「食品衛生コース」指定科目』と同じ内容の科目を履修していれば、専門科目18単位を上限として、「食品衛生コース」の単位かつ卒業に必要な単位として認定することができます。
- [2] 編入前の出身校が当該資格養成施設でない場合
- ・「食品衛生コース」の履修を希望する場合  
資格を得るためには、本学の『「食品衛生コース」指定科目』を全て履修しなければなりません。出身校で『「食品衛生コース」指定科目』と同じ内容の科目を履修済みでも、その単位を認定できません。『「食品衛生コース」指定科目』でない専門科目については18単位を上限として卒業に必要な単位として認定できます。
  - ・「食品衛生コース」の履修を希望しない場合  
出身校で履修した専門科目については、18単位を上限として、卒業に必要な単位として認定できます。

※海洋科学部では平成19年にJ A B E E（日本技術者教育認定機構）の認定を受けました。

概要は、13～15ページをお読みください。

#### IV 技術士補の資格について

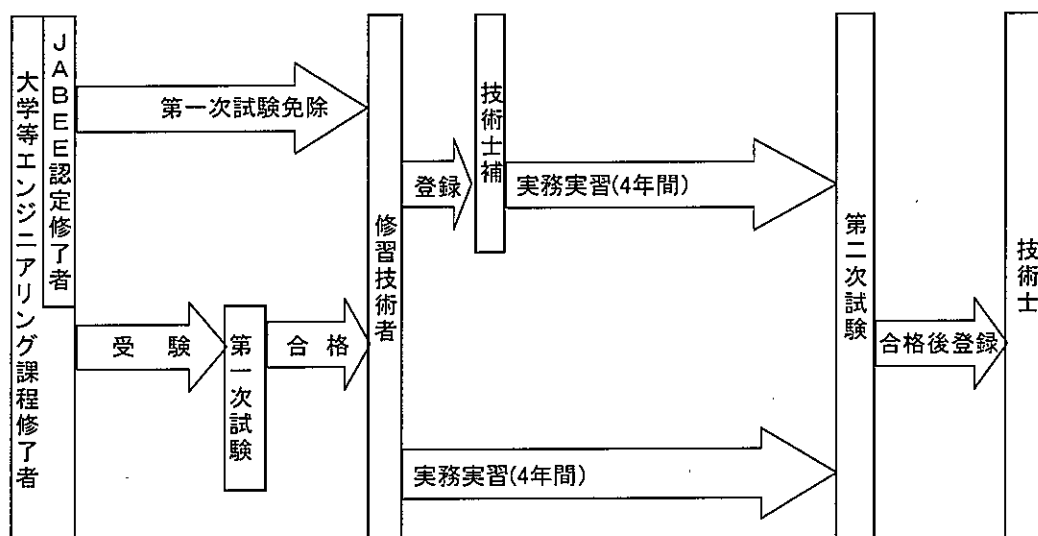
##### 1. 技術士資格

技術士とは国より登録を受け、技術士の名称を用いて、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者をいい、技術士補とは技術士となるのに必要な技能を修習するため、国より登録を受け、技術士補の名称を用いて、業務について技術士を補助する者をいいます。

東京海洋大学海洋科学部は平成19年度に、日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education）（JABEE）の審査を受けています。

JABEEは高等教育機関（大学・高専）における技術者教育プログラムが国際的に必要とされる基準に合致しているかの認定を行う機関であり、この基準に合致されていると評価されることにより海洋科学部の卒業者は、技術士第一次試験が免除され、技術士補として登録することができるようになります。

技術士補は、一定の期間実務修習を行うことにより技術士第二次試験を受験することができます。



東京海洋大学海洋科学部がJABEEの審査を受けることにより、その卒業生には技術士補の資格を得られることに加え次のメリットが生じます。

1. 教育内容を審査する機関であるJABEEの審査を受けているので、海洋科学部卒業生は質的に高い技術基礎教育を受けたことが客観的に証明され社会的に高い評価を受けることが期待されます。
2. JABEEがワシントンアコードに加盟したので、海洋科学部の卒業生は欧米主要国の認定プログラム修了者と同等と評価され、グローバルに通用することになります。

ワシントンアコードは工学教育の国際的な団体であり、その加盟国は他の加盟国が認定した技術者教育プログラムの修了者に対し自国の修了者と同等に取り扱うこととされているからです。

3. 技術士補に登録しなくとも、修習技術者として一定の期間実務修習を行うことにより技術士第二次試験を受験することができます。

## 2. 技術士補として認められるための条件

海洋科学部の学生は卒業に必要な単位を取得することにより、技術士補となるために必要な技術者教育プログラムが履修できるようになっています。

ただし、技術者教育プログラムは質的に高い技術基礎教育である必要があり、履修者には学習・教育目標を自覚して授業を受けることが求められています。

本学部の技術者教育プログラムは、東京海洋大学海洋科学部の教育目標を応用して以下の学習・教育目標を定めていますので、これを念頭において授業を履修してください。

本学部の学習・教育目標		
(A)	(コミュニケーション)	国際的にも通用するコミュニケーションの基礎能力を身に付ける。
1) 論理的かつ説得力のある文章表現を修得する。 2) 効果的なグラフ、図表、レポートの作成方法を修得する。 3) 口頭発表や討議等のコミュニケーション能力を修得する。 4) TOEICテストや少人数教育法の活用により、実践的な語学力を修得する。		
(B)	(技術者倫理)	技術者としての倫理と、責任ある社会活動を可能にする能力を身に付ける。
1) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負っている責任を理解する。 2) 各専門科目と社会や自然環境との係わり合いを理解する。		
(C)	(科学基礎)	数学・自然科学・情報処理の基礎知識を身に付ける。
1) 広範に応用が可能な科学の基礎力をつける。 2) 論理的思考力および適正な自然観を修得する。 3) 科学技術に必要な計算能力および情報処理能力をつける。		
(D)	(水産・海洋基礎)	水圏と地球環境、水産生物資源、その持続的生産、水産物の利用についての、水産・海洋に関する基礎的知識を身に付ける。
1) 水産・海洋の領域を総合的に考察するに必要な知識を修得する。 2) 特に重要な地球環境の保全、海洋環境の保全、水産資源の持続的利用、海洋食品の安全性についての知識を得る。 3) 自身の専門の水産・海洋学における位置付けを理解する。 4) 具体的には、生命科学、生物環境科学、生物生産科学、生物資源化学の各関連科目を修得する。		
(E)	(専門知識)	
1) (海洋環境学科) 海洋物理学・海洋環境化学・物質循環・海洋生態系・海洋環境計測・海洋生物計測・海洋情報収集解析・漁具材料・未利用生物資源開発・天然物化学・沿岸域工学・環境保全システム・海上安全についての海洋環境に関する基礎知識を身に付ける。 2) (海洋生物資源学科) 資源培養・資源解析・魚介藻類増養殖・水産遺伝子領域・繁殖システム・漁業生産システムについて生物を対象とした海洋生物資源に関する基礎知識を身に付ける。 3) (食品生産科学科) 食品化学・食品微生物・食品製造・食品保蔵・食品衛生・食品工学・食品物性・食品機械・生理活性物質・生体物質化学・食品未利用資源の高度利用についての食品生産科学に関する基礎知識を身に付ける。 4) (海洋政策文化学科) 水産国際関係論・海洋環境経済論・国際文化理解などの国際海洋政策分野、資源維持・海洋産業経済・海洋健康・海洋レジャーなどの海洋利用管理分野、また食品流通論などの流通・マーケティング分野など、海洋政策文化に関する基礎知識を身に付ける。		

(F)	(実験・調査)	実験・調査を計画・遂行し、結果を解析・考察する能力を身に付ける。
		1) 効果的な実験・調査を計画し、効率的に時間内に遂行する能力を身に付ける。 2) データを正確に解析・考察し、かつ説明する能力を身に付ける。 3) 講義で得た知識を実際に確認しつつ体得する。
(G)	(演習・実習)	演習・実習を通じて、自己学習の習慣および問題を解決する能力を修得する。
		1) 演習・実習を通じ、自己の能力を評価し向上させることによって、問題解決能力を磨く。 2) 技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する能力と判断力を修得する。
(H)	(現場実習)	海上や製造現場において、与えられた条件の中で実際の対象に対して適切に判断し、対処する能力を養う。
		1) 実際の現場や社会での実習を通じ、専門科目の意義を体感する。 2) 現場実習における体験を一般化し、説明する力を養う。 3) 与えられた制限の多い場で、沈着冷静に目的を達成する能力を養う。
(I)	(生涯学習)	最先端の水産・海洋技術者として活動するために必要となる、さらに高度で専門的な知識の生涯学習能力を身に付ける。
		1) 自主的に必要な文献や資料を調べ、研究者などに質問しつつ、継続的に学習できる能力を身に付ける。 2) 各種の解決すべき問題に対して、どの分野または科目が対応するのかを判断できる能力を養う。
(J)	(課題解決能力)	水産・海洋技術の専門的な知識・技術を総動員して、課題を探求し、その課題を解決するための研究を組み立て、遂行し、その結果をまとめ、発表できる実践的課題解決能力を身に付ける。
		1) 解決すべき課題を明確にし、それらを解決する方法の策定を図る能力を養う。 2) 課題に対して、基礎科学・専門技術などを総合して対処する能力を養う。 3) 課題の解決にあたり、結果をとりまとめ報告し、残る問題点の対処法を明確にする能力を強化する。
(K)	(総合的判断)	広く学問的知識を身に付け、柔軟な総合的判断力を修得する。
		1) 地球的、社会的視点から多面的に物事を考える能力を養う。 2) 他人や他分野からの意見などを謙虚に受け止める素養を磨く。 3) 技術的成果に対して、常に反省を怠らず、向上を目指す姿勢を身に付ける。

こうした目標に従って学習を続けていくと、以下の知識・能力が身に付くよう、本学部のカリキュラムが組まれています。

(1) 基礎能力

生命科学、生物生産科学、生物資源科学、および環境科学の各関連科目のほか応用化学、応用物理学、または経済学の関連科目の修得によって得られる理論的知識

- (2) 実験または調査を計画・遂行し、データを正確に解析・考察し、かつ説明する能力
- (3) 専門的な知識および技術を駆使して、課題を探求し、組み立て、解決する能力と判断力
- (4) 技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する能力と判断力

## V 学生生活について

### ○ 学務部

授業科目の履修・課外活動・奨学制度・健康管理及び就職案内など、学生の学習及び厚生補導業務に関する事項は、学務部において取り扱っています。

### ○ 学生支援教員制度

学生の学業・生活・進路等に関する相談を受け、指導を行うための学生支援教員制度を設けています。

### ○ 奨学援助等

#### [1] 日本学生支援機構奨学金

人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学に困難があると認定された者に対しては、第一種（無利子）又は第二種（有利子）で奨学金が貸与される制度があります。

#### [2] その他の奨学制度

地方公共団体及び民間の奨学事業団体などによる奨学金の貸与制度も日本学生支援機構とほぼ同様です。

#### [3] 授業料の免除等

経済的理由により納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者に対しては授業料の全額又は半額を免除する制度があります。また、授業料徴収猶予の制度もあります。

### ○ 住居

アパート・貸間等も大学で紹介していますが、希望する物件が少ない場合もあります。

# 東京海洋大学 学生寮のお知らせ (平成24年度学部3年次編入学者)

## 学生寮の概要等

東京海洋大学には2つの学生寮があります。

	「朋鷹寮(ほうようりょう)」	「海王寮(かいおうりょう)」
場所	東京都港区港南4-5-7	東京都江東区越中島2-2-8
入寮募集人数(3年次進級者を含む)	日本人学生 男子20名程度 女子15名程度 外国人留学生 募集はありません	日本人学生 男子45名程度 女子10名程度 外国人留学生 男子若干名 女子若干名
部屋数	男子131室 12.25m <sup>2</sup> (個室) 女子93室 12.25m <sup>2</sup> (個室)	男子129室(※準個室) 1~3寮 タイプⅠ 約12.5m <sup>2</sup> 117室 5寮 タイプⅡ 約13~14m <sup>2</sup> 10室 タイプⅢ 約18m <sup>2</sup> 2室 女子38室(※準個室) 4寮 タイプⅠ 約12.5m <sup>2</sup> 38室 ※1室を2部屋に区切り2人で使用 タイプⅡ、Ⅲは大学院生用の居室です。
経費 (平成23年4月現在) ※年度により変更になる 可能性があります。	寄宿料 4,700円/月 光熱水費 約40,000円/年 入寮費 10,000円/入寮時のみ 居室清掃費等 15,000円/入寮時のみ 学生寮運営のための諸経費 2,000円/月	寄宿料 3,000円/月(タイプⅠ) 光熱水費等 約45,600円/年 入寮費 10,000円/入寮時のみ 居室清掃費等 10,000円/入寮時のみ 学生寮運営のための諸経費 2,200円/月
選考方法	通学の困難度(原則として、片道の通学時間が2時間以上の者を優先)と家庭の経済状況(日本学生支援機構奨学金選考基準に準じ算出した「家計評価額」による)を考慮して選考します。	

学生寮へ入寮を希望される場合は、下記のとおり募集要項を請求の上応募してください。

### ・学生寮の入寮募集要項の請求方法

1. 請求期間：平成23年8月26日(金)～9月12日(月)  
(申請期間：平成23年9月14日(水)～9月28日(水))

### 2. 請求方法：

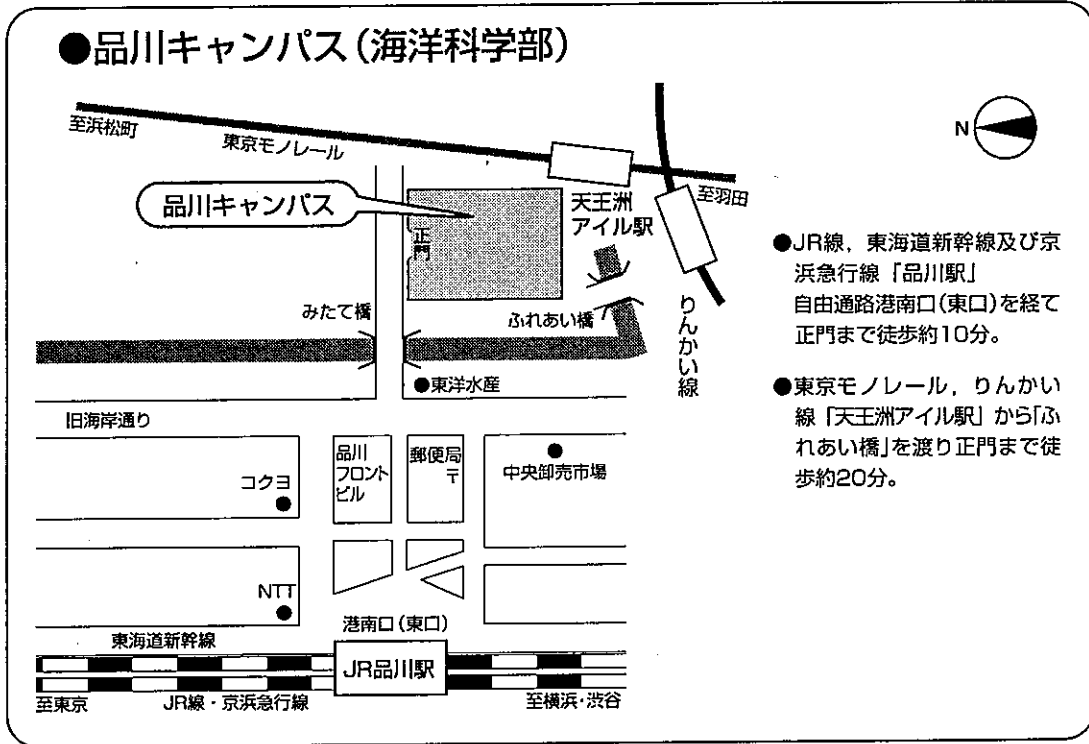
- ・直接来学または郵送により請求してください。
- ・郵送の場合は、東京海洋大学宛の封筒に「平成24年度学部3年次編入学入寮募集要項請求」と朱書き、返信用封筒[(角形2号：33cm×24cm)に郵便番号、住所、氏名を明記し、240円切手を貼付すること]を同封のうえ、本学学生サービス課学生生活係に請求してください。
- ・来学される場合(受付時間 9:00～17:00 土・日、祝日を除く)  
〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 品川キャンパス 学生サービス課学生生活係  
〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6 越中島キャンパス 越中島地区事務室学生サービス係

### 3. 請求及び照会先

- ・住所：〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学学生サービス課学生生活係
- ・電話：(03) 5463-0433

\*入寮願の提出方法及び提出期間、選考結果発表日等の詳細は「入寮募集要項」でお知らせします。

## 【交通の案内】





学生募集要項に関する問い合わせ先

〒108-8477

東京都港区港南4-5-7

東京海洋大学 入試課 入試第一係

TEL 03-5463-0510

ホームページ <http://www.kaiyodai.ac.jp/>